



名刺データ 簡単に一元管理

ビジカ・ビジネスシステム(東京都品川区、川森基次社長、03・6826・8800)は、名刺をスキャンしてデータを管理する端末「ビジカFEシステム」を発売した。従来、社員が個人で管理していた名刺を一元管理でき、顧客情報の保護や社内での共有に役立てられる。端末価格は74万8000円、リ

セスなどを読み取り、名刺のスクリーン画像とともに記憶する。名刺はデータベース化し、管理者パソコンで一元管理する。メールやファクスの一括送信、はがきのあて名印刷などもボタン一つで可能。社員は自分が登録したデータや名刺画像を社内システムで携帯電話システムで閲覧する。

スキャンするだけ

ースは月間1万5800円。初年度に500台の販売を目指す。

名刺管理が目的のデータ預かりサービスなどはあるが、料金が高く、名刺データ活用サービスは少なかつた。同社は低価格と機能性を武器に、同サービスに参

入す。端末は光学式文字読み取り装置(OCR)を内蔵。会社や部署の入り口に端末を置き、各社員が挿入した名刺の社名や所在地、氏名、電話番号、メールアドレス

入した。